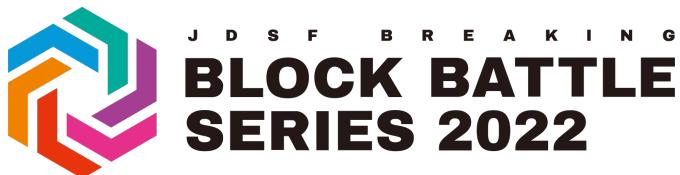




公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 「ブレイキンブロック選手権 2022」



開催期間	2022年7月16日～10月29日
ブロック	
(予定)	北海道東北(北海道)/関東甲信越(神奈川県)/中部北陸(愛知県)/関西(大阪府)/中国四国(岡山県)/九州沖縄(福岡県)
主催	公益社団法人日本ダンススポーツ連盟
主管	公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 ブレイクダンス本部
協賛	■オフィシャルパートナー：株式会社ペイエフエム / 株式会社コーセー / 東急不動産ホールディングス株式会社
(予定)	■オフィシャルウェアパートナー：NIKE JAPAN ■オフィシャルサプライヤー：株式会社ファクトリージャパングループ(KA・RA・DA Factory) / RIMOWA / 西川 AiR ■PRパートナー：PR TIMES / FINEPLAY

競技内容

開催日	大会名称	会場	対象区分	服装	出場資格
随時発表	JDSF ブレイキンブロック選手権 2022	随時発表	・男子オープン ・女子オープン (2008年12月31日 以前に出生した選手)	自由* 一部制限あり	・当該大会より事前に選手登録を完了したダンサー ・選手は自分が所属しているブロックのみ参戦可 (自身の住民票のある都道府県及び該当ブロック)
			・男子ジュニア ・女子ジュニア (2008年12月31日 以後に出生した選手)	自由* 一部制限あり	

※本大会は新審判方式(AJSB)により審査を行い、順位を決定いたします（詳細はJDSFホームページを参照）。

- 各選手権の優勝者は、2022年度ブロックチャンピオンと呼称されます。
- 選手受付時間・競技開始時間…別途ご案内します。
- 本大会は日本ドーピング防止規程の対象競技会です。
- 大会中に発生した事故の応急処置は行いますが、その後は責任を負いかねますので自己責任で処置願います。
- 大会に関する放送、テレビ放映、新聞、雑誌、スポンサー等の報道に選手の名前、写真及び映像を使用する権利は大会主催者に帰属します。
ホームページ等で撮影した映像、音楽のコピーの配布及びインターネットへの配信、投稿を禁じます。
- 競技会出場者一覧表及び競技成績結果がJDSFホームページに掲載されることを了解の上で、ご出場ください。

競技日程(日付順)

7月16日(土) 中部北陸ブロック選手権
会場:愛知県武道館 第一競技場
受付時間:10:30
大会終了:19:00 予定

9月11日(日) 関東甲信越ブロック選手権
会場:カルツツ川崎 小体育室
受付時間:10:30
大会終了:19:00 予定

9月17日(土) 九州沖縄ブロック選手権
会場:福岡アイランドシティフォーラム
受付時間:10:30
大会終了:19:00 予定

10月2日(日) 北海道東北ブロック選手権
会場:後日公表
受付時間:10:30
大会終了:19:00 予定

10月22日(土) 中国四国ブロック選手権
会場:後日発表
受付時間:10:30
大会終了:19:00 予定

10月29日(土) 関西ブロック選手権
会場:パープルホール(藤井寺市立市民総合会館)
受付時間:10:30
大会終了:19:00 予定

ブロック選手権 競技フォーマット

■本年はオンライン予選は行わず、全てブロック選手権において、一次予選(プレセレクション)から決勝戦までを現地で行い、ブロックチャンピオンを決定する形となります。

■ジャッジシステム:Absolute Judging System for Breaking を採用
(プレセレクションにおいては一部、相対評価での審査を行う)

【ジャッジの役割について】

-ブロック選手権でのジャッジは JDSF が公認したジャッジ 12 名(2022 年度)で構成され、このうち 3 名が各ブロック選手権に配属され審査を行う。

-大会ごとにジャッジ 3 名の内 1 名をヘッドジャッジとして定める。

-ジャッジは、競技の規則に従ってパフォーマンスを評価し、それに応じて採点を行います。

-ジャッジの採点は、観客の声援や MC によるコメントなどの外部的要因に影響されなければならない。

-同点などにより審議の必要があった場合には、最終的な選出及び特別な判断が必要な場合にはヘッドジャッジが最終的決定を下す権限を持つ。

■競技部門

-ジュニア BBOY (2009 年 1 月 1 日以後に出生した選手)

-ジュニア BGIRL (2009 年 1 月 1 日以後に出生した選手)

-オープン BBOY (2008 年 12 月 31 日以前に出生した選手)

-オープン BGIRL (2008 年 12 月 31 日以前に出生した選手)

■競技進行

・予選ラウンド - 各部門において 4~8 名で 1 組のグループを作り、1 人 1 ムーブのパフォーマンスを行う。
各部門の全参加者の中から 8 名が本戦ラウンドに進出。

・本戦トーナメント - 各部門で選出された 8 名によるトーナメント戦を行う。

※1 バトルにおけるムーブ数は、ジュニアとオープンで異なる。下記参照

TOP8 - 2 ムーブ制(全部門共通)

TOP4 - 2 ムーブ制(ジュニア部門) / 3 ムーブ制(オープン部門)

FINAL - 3 ムーブ制(全部門共通)

本選手権において 3 位決定戦は行わず、順位は(優勝/準優勝を除く)TOP8 敗退・TOP4 敗退それぞれの位において、バトルで獲得した得点の多寡で決する。

例:TOP4 敗退の場合

TOP4 のバトルにおいて獲得した公式点数を比較し順位決定
(選手 A 58pt : 選手 B 60pt) の場合、選手 B が 3 位となる。

バトル中のインターバルについて

・2 ムーブ制のバトルの場合:選手それぞれが 2 ムーブを行い、バトル終了後に MC の合図で結果を表示する。

・3 ムーブ制のバトルの場合:選手それぞれが 2 ムーブを行い、60 秒~90 秒のインターバルを挟んだ後、1 ムーブを行う。3 ムーブ制の結果表示については、選手それぞれが 2 ムーブを終え、インターバル中にジャッジの集計が終わった時点で表示し、その後 1 ムーブを終えジャッジの集計が終わった時点で最終結果を表示する。

■国内ランキングポイントについて

2022 年度より強化選手を決定するための重要な大会である全日本ブレイキン選手権へのロードマップを刷新し、従来の JDSF ブレイキンブロック選手権での出場枠の決定ではなく、JDSF 主催大会とパートナー大会から得られるポイントでの国内ランキングを設定し、ランキングの順位に応じて全日本出場枠が付与されるロードマップへ変更します。

ブロック選手権でのランキングポイントは以下

-1 位:1000pt

-2 位:850pt

-3 位:600pt

-4 位:420pt

-5 位~8 位:330pt

-9 位~16 位:240pt

-17 位~24 位:195pt

-25 位~32 位:120pt

-以下全員:80pt

以上